



石川県の桜酵母でスキンケア

桜酵母を用いた化粧品素材の開発

技術分野分類 7102 : 應用微生物学

技術キーワード (7) : 微生物機能、(8) : 微生物利用学

産業分類 E16 : 化学工業

内 容	概要	兼六園の八重桜から分離した酵母（桜酵母）が、表皮細胞の増殖促進効果を有し、皮膚のターンオーバーの促進に寄与できる可能性があることから皮膚外用剤の有効成分（化粧品素材）として有用であることを見出した。								
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	分離源の異なる石川県産酵母（3種）と市販天然酵母（3種）から肌への重要な働きのあるアミノ酸、葉酸の含有量が最も優れた「桜酵母」を選抜した。桜酵母の肌細胞への有効性を評価した結果、表皮細胞相対量はコントロールに対して桜酵母 2%添加で 131%に増加し、表皮細胞の増殖促進効果が認められた。								
	本技術の有用性	本技術は、化粧水や乳液等の基礎化粧品から医薬部外品まで幅広い皮膚外用剤の有効成分として利用可能である。								
関連情報 (図・表・写真等)		<table border="1"> <caption>桜酵母の表皮細胞増殖促進効果</caption> <thead> <tr> <th>添加量</th> <th>表皮細胞相対量 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コントロール (無添加)</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>1 % 桜酵母添加</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>2 % 桜酵母添加</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table>	添加量	表皮細胞相対量 (%)	コントロール (無添加)	100	1 % 桜酵母添加	110	2 % 桜酵母添加	131
添加量	表皮細胞相対量 (%)									
コントロール (無添加)	100									
1 % 桜酵母添加	110									
2 % 桜酵母添加	131									
適用可能製品		・皮膚外用剤（化粧品、医薬部外品）								
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	山崎 裕也 (やまざき ゆうや) 化学食品部 食品加工技術研究室・主任技師								
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	企画指導部 076-267-8081 / 076-267-8090 kikaku@irii.jp								

■知的財産 特許出願（特願 2019-037869）

皮膚外用剤

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2021年11月15日